



今津

NO.294

編集・発行
 今津コミュニティ編集委員会
 事務局
 西宮市今津二葉町4-49
 23-4905
 連絡先
 46-7889 (大段)

変わりゆく今津の町 これからも大きく変わっていきます

酒蔵と工場が多いイメージの町だった今津地域。阪神・淡路大震災以降からマンション建設が進み、徐々に住宅地へと変わってきました。

住宅が増えていくとともに、スーパーやドラッグストアなど商業施設がどんどん増え、今後も新しい店舗の出店が計画されています。今津はスーパー銀座になりました。買い物するのはとても便利になりましたが、困ったことに遠くから買い物に来る人が増え、休日には車が渋滞するようになりました。

地域のランドマークも変化
 地域住民に慣れ親しまれ、地域の目印になっていた大関株式会社の大看板が老朽化などに伴って、令和に入り取り外されました。

港付近も大きく変貌。高潮対策で、遠くからでも目立ち、目印にもなる新しくとても大きな水門も造られ、今津浜で

は新排水機場の建設が進んでいます。

新排水機場建設に伴い、地域の象徴の一つであった大関酒造今津灯台が移設。移設先付近には今津砲台跡の記念碑もあり、とてもきれいに整備されて公園のようになり、見学に来る人も増えています。



今津砲台石碑

ただ、とても残念なことに、住民の憩いの場であった今津浜が工事のため消滅することになり、埋め立てがどんどん進められています。港周辺の景色も、ここ数年でさらに大きく変わっていきます。



今津浜

西部工場の解体も完了

平成24(2012)年に稼働停止になり、そのままになっていた高い煙突が目立っていたごみ焼却場の西宮市西部工場。令和5年後半から解体作業が進められ、まったく何もない更地の状態になりましたが、跡地の利用については現時点では未定です。



西部工場跡地



まだまだ工事が続きます

今後は、名神湾岸線連絡道路の建設が予定されています。これが完成すると、名神高速西宮インターチェンジから今津港津門大筒線沿いの景色も大きく変化していきます。



湾岸線への道路

寂しい面もありますが、時の流れに伴い、今後も今津地域の町の景色は、ますます大きく変わっていきます。古き良き部分も含めて、今の景色を忘れず、変わっていく町の景色も楽しみましょう。

本日のフォーラムの目的

「これからの地域情報の発信について」

- 地域の情報発信、同じやるなら少しでもたくさんの人に見てもらいたい、役に立ちたい
- 情報発信の方法を見直しませんか？
- もっといい方法を模索しませんか？
- 一緒になって今の時代に合った情報発信をしていきませんか？

フォーラムの目的

フォーラム当日は、津門地域から5人、春風地域から3人、今津地域から9人の合計17人が出席して行われました。参加者の自己紹介の後、「各地域の現状と課題」と題して、各地区で行っている取り組みや『宮っ子』の特徴、そして感じている課題について発表しました。普段知ることができない各地域の『宮っ子』の編集や記事の内容、考え方、そして課題について、直接聞くことができました。

編集委員の構成

今津地域の編集委員は公募制のみとなり、以前のようにPTAから参加する人を依頼することはなくなりました。

一方で他の地域では、常任

これからの地域情報の発信について ～3地域合同 宮っ子フォーラムより

昨年12月14日に今津宮っ子フォーラムを今津南会館で開催しました。今回は津門、春風、今津の3地域合同で行いました。今回は「これからの地域情報の発信について」をテーマに、各地域の情報発信の考え方や手段、そして、感じている課題について共有し、共通課題の解決を模索し、情報発信のヒントなど意見交換をしました。

各地域の取り組み

とPTA委員から構成する、あるいは固定で、かつ少数精鋭で活動しているという大きな違いがありました。これは各地域における地域特性や背景、そして現状で最善な対応の中で行われていることであり、今津地域でも参考になる情報が得られました。

記事の内容の特徴

各地域で特色のある記事が作られています(Web版『宮っ子』から各地域のバックナンバーが参照できますので、ぜひともご覧ください)。



フォーラムの様子

記事の内容について、決まった特集を継続していくことや、「記録」として少し過去に行った行事を掲載するという目的を明確にして各地域で編集していることを知りました。今津地域は2年前の宮つ子フォーラムで得た読者の意見から、試行錯誤で記事を編集している状況であることを報告しました。

情報発信について

『宮つ子』の冊子以外で、情報発信として取り組んでいることを共有しました。今津地域ではXとインスタグラム、フェイスブック、そしてWebページを開設して情報発信を行っています。使い分けとして、行事報告は即時報告ができるXやフェイスブック、インスタグラムで発信し、記録として残していくものはWebページに掲載といった情報の内容で掲載場所を変えています。

津門地域はWebサイトに地域の情報から生活情報をつまみとめ、「ここを参照すれば情報が得られる」という考えで構成されていると報告

されました。これは閲覧数が容易に増える形であり、今後の今津地域での情報発信の在り方、考え方において非常に参考になりました。

フォーラムで得たこと

フォーラムを開催するにあたり、フォーラム前後で当初の期待と異なることを得ました。一つは「成り手について」です。2年前の宮つ子フォーラムで、今津地域の各団体で感じている課題として出てきたキーワードが「成り手」であり、さらに「若い人」というキーワードがでてきました。しかしながら、今回のフォーラムではこのキーワードはなく、反対に疑問を投げかけられるくらいでした。人手が足りているから話題が出ないわけではないのですが、仕組みがあれば継続できるといふことの現れであることを学びました。

二つ目は情報発信の方法です。手軽で費用が掛からない方法を第一に考えて現在の今津地域のインターネットを活用した情報発信を行っています。情報発信は行える半

面、閲覧数の伸び率に課題がありました。今回のフォーラムでの学びとして、生活の一部に入れる方法を取り入れる手段を学ぶことができましたので、今後の情報発信に取り入れていきたいと考えています。

三つ目は「記録としての『宮つ子』」です。過去のフォーラムで今津地域の多団体からは「過去の出来事を記事に

したら見ない」という意見から、地域に住む人たちに共通するものを記事にする方針にしたのですが、「当時の状況」を残せるのは紙媒体の『宮つ子』になるため、その観点での活用を検討するのも良いかと考えました。

四つ目は「課題は似ているが同じではない」です。各地域それぞれ背景がありますので、同じ課題があるように見

今津地域の情報発信の現状と取り組み

- 無料で作れるホームページを作成して情報発信。『宮つ子』に掲載しきれない情報やより詳しい情報を選択して掲載
- 無料で使えるフェイスブック・X (旧 Twitter) ・インスタグラムで情報発信。地域行事や地域の出来事や新しい店ができたなどの気軽なことも情報発信
- 情報誌『宮つ子』へは、新鮮さが求められない記事やタイミングが合った地域情報を掲載
- まだまだ少ないが情報発信を継続することにより、新たな人を含め、閲覧者は徐々に増加

右の二次元コードから参照してください。



現在の今津地域の情報発信 (発表資料より)

えても内容が全く別物であり、解決方法も同じとは限らないということです。どうしても共通事項としてまとめたいのですが、その地域の成り立ちが異なるため、似た課題があっても解決方法は同じとは限らないという点です。ただし、唯一の共通点があるとすれば、編集委員は多くの時間を地域活動に充てられる人で構成した方が良いでしょう。

今後の取り組み

現在の『宮つ子』の記事は2年前の今津宮つ子フォーラムからの流れで記事を作成しています。今回、他の地域からの意見を参考に構成を検討するのも良い機会と捉え、前向きに検討したいと考えています。

一方で、継続的な情報発信や情報収集については、地域活動をしている人たちが構成した方が良いことを改めて理解しました。継続的に編集委員を募集しています。地域活動をされている人で興味があれば幸いです。

講座のお知らせ

今津公民館 (22-3529)

3月20日(木・祝) 10:00 ~ 11:30

吹奏楽と一緒に「音楽を楽しもう♪」

講師：今津中学校吹奏楽部の皆さん

対象：小学4～6年生

定員：30人程度

場所：今津中学校中庭集合

*オンライン申し込み

3月22日(土) 10:00 ~ 13:00

「手ごねパン作り」

講師：JHBS認定講師 上村恭子

対象：一般(中学生以上)

定員：16人

材料費：1500円

場所：今津公民館実習室

*オンライン申し込み

～4月の講座はありません～

南甲子園公民館 (49-4741)

～3・4月の講座はありません～

*詳細については各公民館にお問い合わせください



ろうそく作りを体験

大関株式会社、松本ろうそく店など、近隣にある事業所や地域交流拠点などで実際に職業体験をしたり、タオル製作や左官作業を体験をしたり、ヨガ教室に参加したり、琴や着付けを習ったり、地域のことをより知る体験をしました。

今津小学校で「ミニトライやる」実施
地域の人たちからさまざまなことを教わり、体験する活動で、キャリア教育の一環として行われている「ミニトライやる」。

1月9日に今津小学校5年生の児童が、受け入れを協力



着付けを体験

児童たちは、少し緊張と遠慮がありました。興味を持って一生懸命取り組み、短時間でしたが、それぞれ貴重な体験になったことでしょう。趣旨に賛同した近隣の皆さんのご理解と協力に感謝します。

令和7年 西宮市消防出初式

甲子園浜3丁目の阪神南広域防災拠点で、1月12日に今津地域をはじめ、西宮市内の各地域の消防団員や消防職員がたくさんの消防車両と共に参加して行われました。

参加職員の分列行進や参列者からの祝辞、表彰の後、子ども消防士のパレード、消防車による一斉放水、はしご車を使った救助訓練が披露されました。



消防車による一斉放水

寒い中でしたが、たくさん家族連れでにぎわい、子どもたちが消防車と記念撮影をしたり、皆さん貴重なひと時を楽しんでいました。



消防車が集まりました



はしご車と記念撮影

ホームページ
二次元コード

「宮っ子」今津」では、ホームページやSNSからも、より詳細な地域の情報を発信しています。



阪神甲子園球場内で

い出をつくっていました。皆さんのこれからが明るく、楽しく、やりがいのある未来になりますように。



阪神甲子園球場前で

令和7年度の西宮市二十歳のつどい」が開催されました

西宮市で育った宮っ子の特権。今年も阪神甲子園球場で「二十歳のつどい」が1月13日の成人の日に開催されました。

女性は晴れ着、男性はスーツ姿の人が多く、皆さん晴れやかな笑顔で出席し、新たな思い出をつくっていました。